

## 第7節 全体配置計画

本章において検討した各施設の配置計画平面図及び全体計画図を次ページ以降に示す。

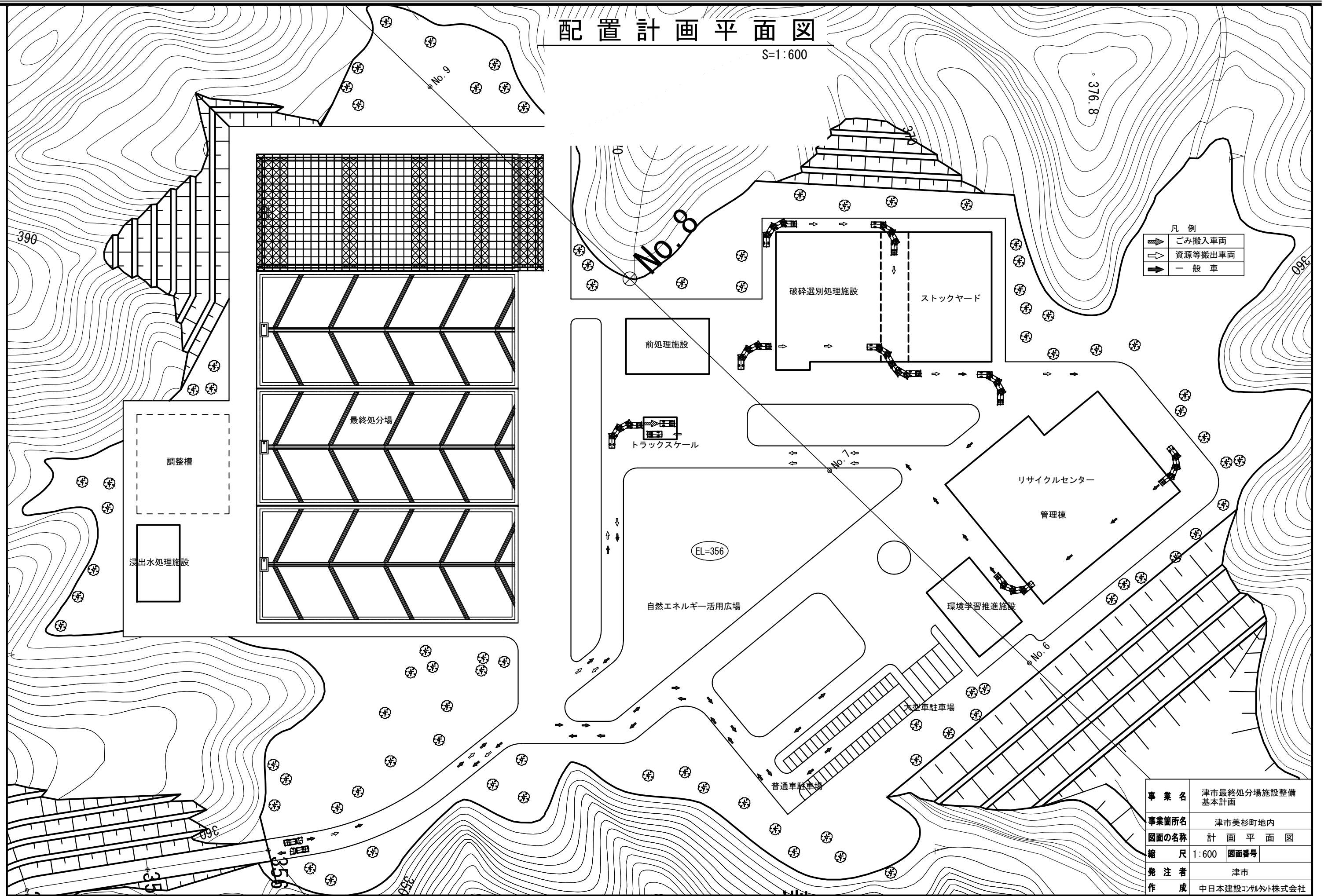
施設の入口部分は、施設を極力配置せずに、「エコ最終処分場」のシンボルヤードとして自然エネルギーを有効利用可能な施設用の平場を設け、エントランスの圧迫感を排除した。また、敷地周囲には緩衝緑地帯として植栽ゾーンを配置した。

リサイクルセンター、環境学習施設は公園緑地ゾーンへの眺望を配慮し、北側に配置し、最終処分場は地山の岩盤線が比較的浅いと想定される南側に配置した。浸出水処理施設や破碎選別処理施設、ストックヤードは、維持管理車両動線を配慮した上で、バックヤードに配置した。

車両動線は、環境学習施設や公園緑地ゾーンへの一般車両と施設車両を入口部で完全に分離できるよう計画した。

# 配置計画平面図

S=1:600

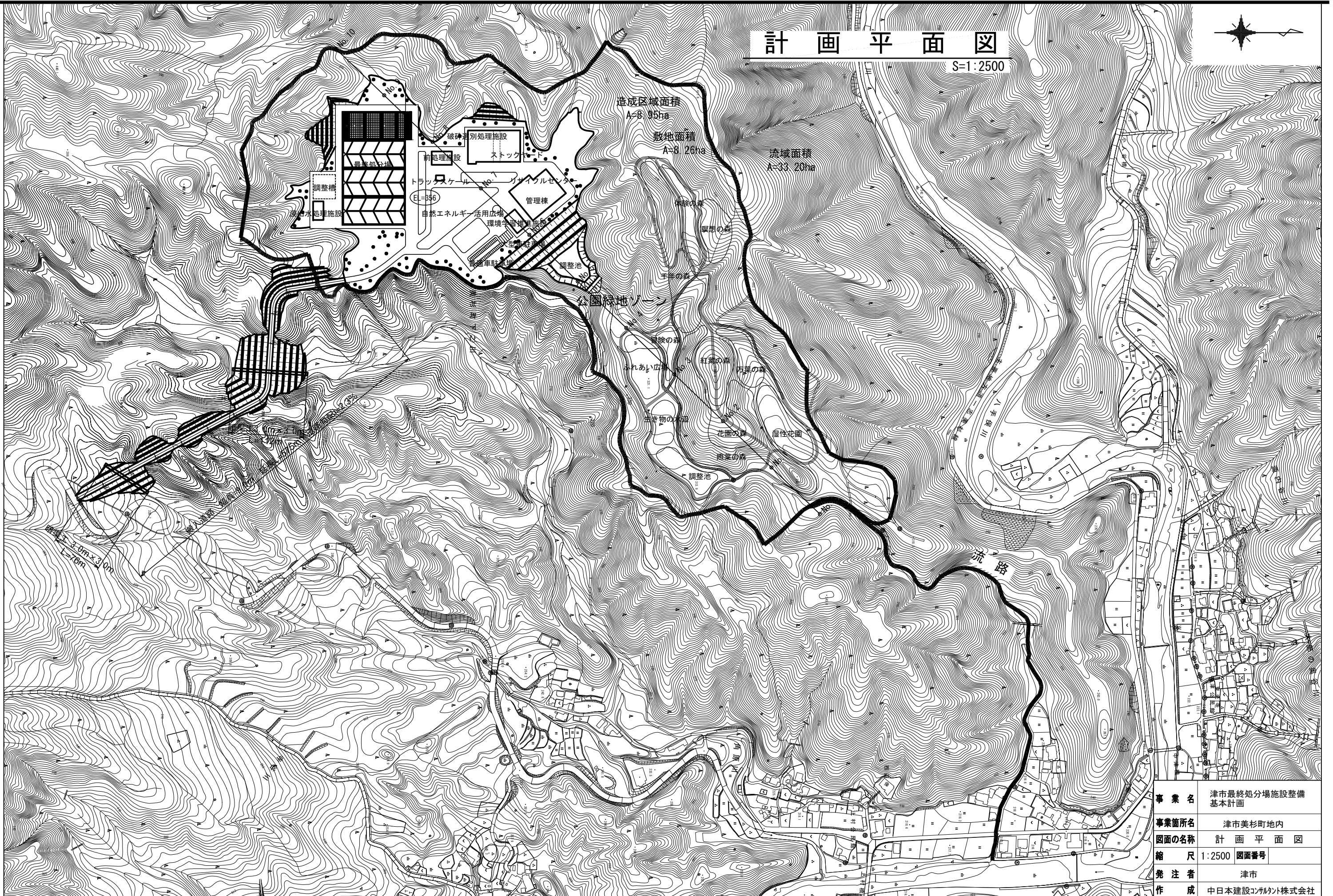
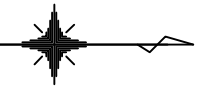


- 凡例
- ごみ搬入車両
  - 資源等搬出車両
  - 一般車

事業名	津市最終処分場施設整備基本計画
事業箇所名	津市美杉町地内
図面の名称	計画平面図
縮尺	1:600 図面番号
発注者	津市
作成	中日本建設コンサルト株式会社

# 計画平面図

S=1:2500



事業名	津市最終処分場施設整備基本計画
事業箇所名	津市美杉町地内
図面の名称	計画平面図
縮尺	1:2500 図面番号
発注者	津市
作成	中日本建設コンサルト株式会社